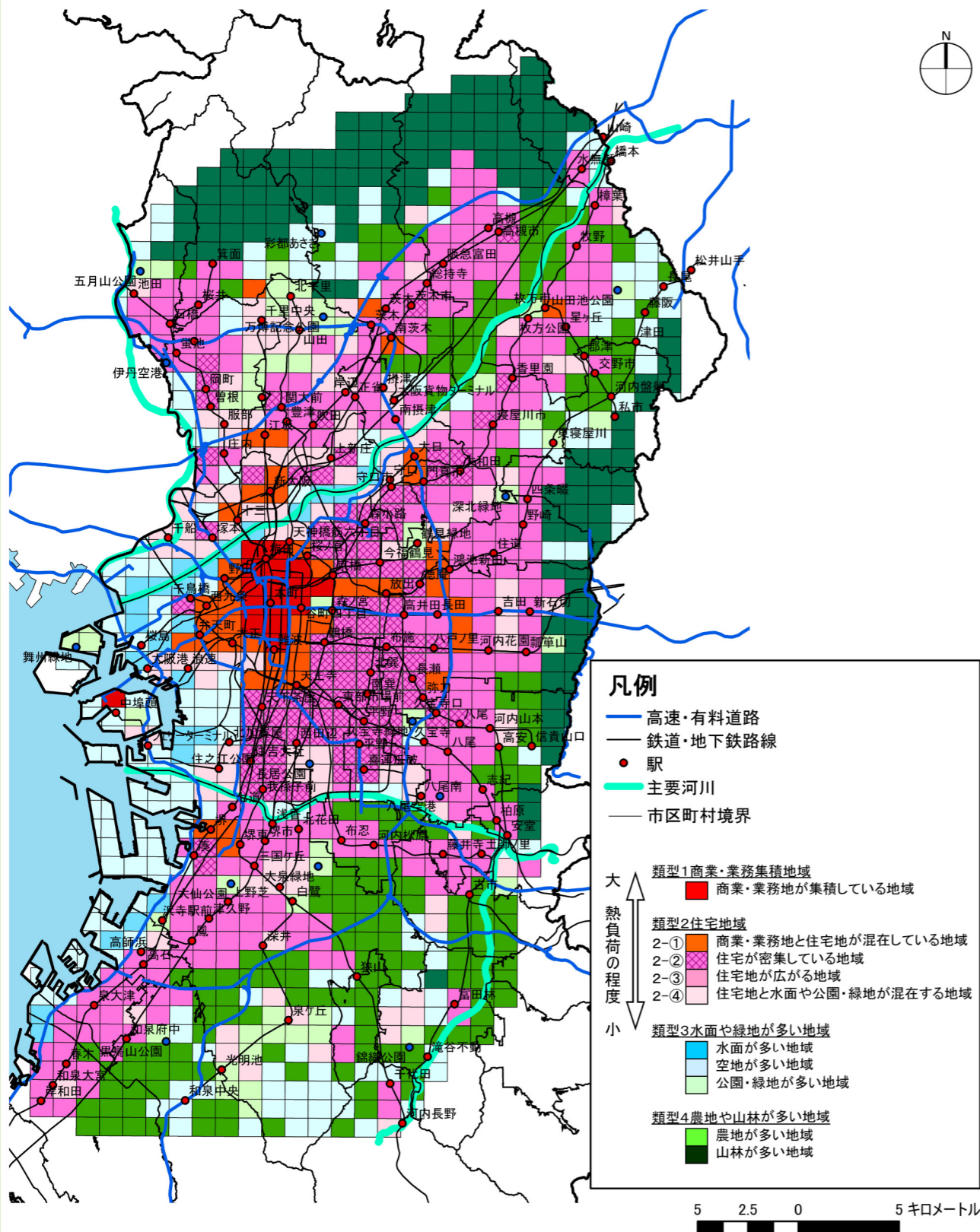


● 熱環境(熱負荷特性)マップ

熱環境(熱負荷特性)マップは、航空機から測定した地表面温度や、人工排熱、土地被覆、気象条件等各種データを用いて解析を行い、1km²毎に熱負荷の程度の状況を類型化して示したものであり、地域における熱負荷の特性と、大きさの程度を知ることができます。



● (参考) 府内のヒートアイランド対策事例の効果測定

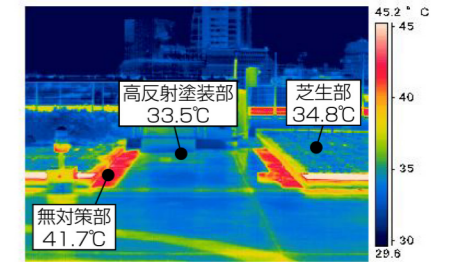
府内のヒートアイランド対策箇所において実施した効果測定として、屋上緑化、塗装による高反射化、芝生化の測定結果を示します。効果測定は、いずれの場合においても気温が30℃以上の夏季晴天時に行ったものです。

● 屋上緑化・屋上の高反射化 屋上緑化(芝生)部で約7℃、高反射塗装部で約8℃の表面温度の低下

大阪府立女性総合センター
(大阪市中央区)



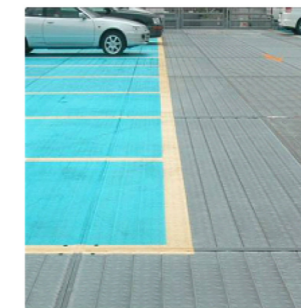
▲ 可視画像



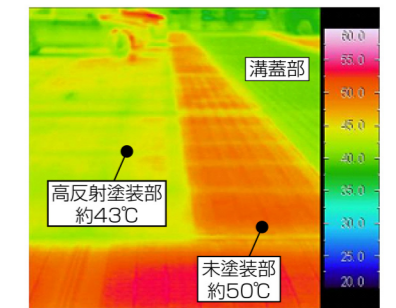
▲ 赤外線熱画像

● 駐車場の高反射化 高反射塗装により約7℃(最大約10℃)の表面温度の低下

大阪府庁立体駐車場
(大阪市中央区)



▲ 可視画像



▲ 赤外線熱画像

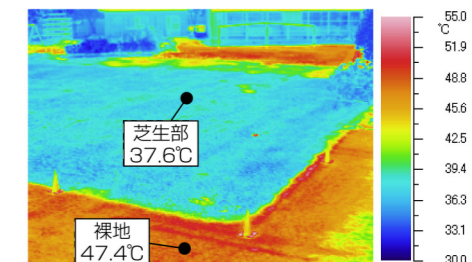
備考) 未塗装面で見られる低温部は溝蓋(グレーチング)の計測結果である。

● 校庭の芝生化 芝生部で約10℃の地表面温度の低下、気温は約0.7℃低下

枚方市立山之上小学校
(枚方市)



▲ 可視画像



▲ 赤外線熱画像